

# 尾瀬沼ハイキング

スポーツセンターの知り合いが、7月9日・10日の日程で尾瀬ハイキングを計画しているので参加した。リーダーは、本格的な登山家（男性）で、ハイキングの先頭役（案内役）は登山愛好家の女性。参加者は、男性5名、女性5名の10名で構成されている。ハイキングコースは、尾瀬沼山峠→沼山峠→尾瀬沼→長蔵小屋で宿泊し、翌日は長蔵小屋→沼尻平→沼山峠→尾瀬沼峠。

## 1. 周辺の沼や山

尾瀬沼の周辺には、燧ヶ岳（ヒウチガダケ、標高1400m）と至仏山（標高2228m）の裾野広がる広大な高層湿地があり美しい花や植物などが季節の色どりを通じて2倍楽しめる。



沼山峠休憩所



尾瀬の地図



燧ヶ岳



至仏山



尾瀬沼



尾瀬ヶ原



ユウスゲの群落



宿泊の長蔵小屋

## 2. 周辺の花達

代表的な花としては、ニッコウキスゲ、ワタスゲ、ゴゼンタチバナなどが元気をしてくれる。尾瀬の代表的なミズバショウは、花が咲き終わり大きな葉っぱになっていた。宿泊の長蔵小屋の前に、福島県の五色沼に生存しているヒメサユリが沢山咲いていたが、本場五色沼の花色に比べて少しくすんでいた。



ニッコウキスゲ



ワタスゲ



ゴゼンタチバナ



サワラン



カキツバタ



ノビネチドリ



コバイケソウ



オゼヌマノアザミ



ギンリョウソウ



クロマメの木



ウラジロヨウラク



ヒメサユリ



キクザキイチリンソウ



ハナニグナ



ワレモノコ



エゾムラサキ

### 3. 僕に異変が生ずる

50年前、尾瀬には家族で数回来ていたし、スポーツセンターで足腰を鍛えているからハイキングで疲れるとは考えていなかった。しかし、2日目に体のバランス感覚が無くなり、そんな僕をリーダーにいち早く気付かれ、先頭役の女性が僕のリックサックを背負い手を引っ張って急な坂道を引き上げてもらった。僕のリックサックにはカメラが3台入っており非常に重く体が反って歩いていたようだ。最後の坂道は、自力で歩こうとリックサックを背負って30分歩き、よろめきながらバス停にやっと辿り着いた。

今回のメンバー全員の気配りは、更なるメンバー間の絆を強め、忘れられない貴重な思い出となった。

PS：参加メンバーの記念写真は、写真撮りを嫌う女性が居たので割愛した。

2018年7月14日

横林寛昉